

# 疑義照会に関するヒヤリ・ハット（用法変更、用量変更）

## ～疑義があると判断する契機となった情報～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「疑義照会」に関する事例が730件報告され、このうち、変更内容が「用法変更」であった事例は67件、「用量変更」であった事例は33件報告されています。（集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日）

☑このうち、「疑義があると判断した理由」の項目で「当該処方せんと薬局で管理している情報で判断」または「上記以外で判断」が選択されていた事例で報告された「疑義があると判断する契機となった情報」の内容は、下表の通りです。

### 用法変更

疑義があると判断する契機となった情報	件数
通常とは異なる用法などを含む処方内容	9
患者が理解している用法と処方内容との相違	4
併用薬	4
薬局で管理している情報と処方内容との相違	3
患者の疾患	2
コンプライアンス	1
処方内容	1
副作用歴	1
合 計	25

### 用量変更

疑義があると判断する契機となった情報	件数
受診状況	3
残薬	3
処方日数制限	3
通常とは異なる用量などを含む処方内容	2
お薬手帳の内容と処方内容との相違	2
同時処方薬の処方日数	2
患者との会話	1
合 計	16

注) 「疑義があると判断する契機となった情報」がわかる事例から情報を抽出している。また複数の「疑義があると判断する契機となった情報」に計上される事例がある。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 200 図表4-I-7、P 212 図表4-I-10を改変